

### 昨年一年間の活動振り返り

5月

- 5月17日 5月臨時議会が開会。藤井哲也は施設常任委員会と地球温暖化対策特別委に所属。
- 5月31日 5月定例議会が開会。
- 6月9日 はじめての議会での一般質問



5月定例会 本会議場の模様

- ①大津市特別職報酬等審議会条例について
- ②大津市民病院の談合事件について
- ③(新)行政改革プランの人事制度の導入の進捗
- ④「協約締結権」の地方公務員への付与について
- ⑤投票率向上について

6月

- 6月17日 5月定例議会が閉会。
- 7月～9月 活動報告チラシの駅前配布、各地の夏祭りに参加いたしました。

9月

- 9月5日 9月定例議会が開会
- 9月12日 2回目の一般質問



9月定例会 一般質問の模様

- ①堅田駅西口地域の河川氾濫対策について
- ②公募委員募集の広報充実と選考の透明性
- ③被災地の放射性廃棄物受け入れについて
- ④市長選に向けた若年者の投票啓発について
- ⑤トータル的な新人事制度について
- ⑥若者の雇用対策について



9月4日 真野川増水の状況  
(本議会提出資料より)

- 9月28日 9月定例議会が閉会
- 11月29日 各地の運動会や文化祭が一通り終わった頃、11月定例議会が開会  
定例会初日、**公務員給与の改定(昨年比0.25%削減)**に対して民間準拠すべきとして反対をしました。

12月

- 12月6日 3回目の一般質問

- ①元納税課職員の不祥事について
- ②おおつSNSと市長マニフェストについて
- ③大津市特別職報酬等審議会の諮問事項(市長などの退職手当)について
- ④堅田駅西口土地区画整理事業の来年度以降の計画とまちづくりについて
- ⑤真野大野廃棄物の不法投棄について ほか2件

- 12月16日 11月定例議会が閉会

## みんなの党大津からのご挨拶



昨年5月、みんなの党大津が大津市議会に会派として発足してから早くも9カ月が経ちました。これまで5月、9月、11月と3回の市議会定例会を経験し、大津市全体の課題、そして地元

の課題に取り組みてまいりました。同時に、市民や地元の皆さまとも交流の機会を頂戴してまだまだ不慣れではありますが、地域の声を勉強させて頂いて参りました。

また市議会会派「みんなの党大津」にご期待をいただいております。「公務員制度改革や地域経済成長戦略」、大阪都に代表される「地域主権型道州制度」にも、反発が根付くよくなる中、敢然と取り組んでおります。地方議員の仕事の根本は「公聴」にあると考えております。つまり、地域の声を聴くという

ことです。そしてその声を議会や委員会等の審議においていかに発揮していかなくてはなりません。日本の景気も大津市民が持てる未来への希望も上へ上へ昇っていくことを祈り、まだまだ微力ながら大津市のため、日本のために全力で活動を継続して参ります。

引き続き本年もご厚情を賜れますようお願い申し上げます。 宜しくお願ひ申し上げます。

みんなの党大津 代表  
藤井 哲也

### 大津市議会平成23年11月定例会(11月29日)～12月16日のご報告

#### 1. 大津市特別職報酬等審議会の諮問事項について

**藤井哲也からの質問**  
大津市の特別職(市長、副市長、議員)や非常勤行政委員の報酬等を審議する会による答申が11月にされ、それを受けて特別職の報酬を約6.2%削減される議案が11月議会にあげられています。しかしその答申には特別職の退職手当は含まれてお

りません。その理由について教えてください。

**市執行部の答弁**  
自治省(現在の総務省)の通達に鑑みて、特別職の給与並びに議員の政務調査費について諮問事項にしている

**みんなの党大津の考え**  
市長の退職手当は大津市では

2200万円(4年在任の場合)を超えます。同じ規模の地方自治体と比較すれば、確かにかなりその額は抑え気味と言えます。しかしながら、一般市民の感覚からすれば、4年間勤務しただけでそれだけ多額の税金が支払われるのには賛否議論があると思います。みんなの党大津はその額は高いと考えています。ついでに、報酬審議会の諮問事項の中に、特別職の退職手当も含めるべきと考えます。

#### 2. 元納税課職員の不祥事について

**藤井哲也からの質問**  
総務部納税課の元職員が公金を着用した要因の一つは異動が10年間なかったということが考えられます。また、不祥事があった期間中係長だった職員は現在、入札にかかわる部署に配属されていますが、配属に問題はないか?また、本年4月の不祥事発覚時の管理職だけを処分するのでなく、不祥事期間中の管理職こそ処分すべきだと思います

**市執行部の答弁**  
異動は本人の希望も聞いた上で行うもので、これまでどおり行っていく。配属については、今後、公金を扱う部署の職員については適性等を考慮して判断していききたい。また、不祥事期間中の管理職は、全員退職して現在のところいない。

**みんなの党大津の考え**  
大津市職員の不祥事が最近相

次いでいます。そうした事態を受け、市もいわゆる「コンプライアンス条例」を制定しました。しかし、11月議会中も市環境美化センター職員が勤務中にキャッチボールで遊んでいる事件が発覚するなど、収まる気配はありません。今後も市職員の不祥事が続く限り厳しく追及し、不祥事が発生しない環境づくりに向け、風土改善、法令順守体制推進について政策提言を行い、また先進的な自治体の管理手法の調査研究を進めていきます。

#### 3. おおつSNS市長マニフェストについて

**藤井哲也からの質問**  
市民間の情報交換を活性化するために4年前から開始した「おおつSNS」。毎年200万円のサポート料と200万円相当の人件費がかかっています。しかし同サービスは、現在のところほとんど使われておらず低迷しています。この低迷理由を聞き、「おおつSNS」は市長マニフェストに掲げられているため廃止できないのかをお聞か

せ下さ。

**市執行部の答弁**  
「おおつSNS」は低迷しており、来年夏をめどに民間の利用者団体へ譲渡する方向で調整している。

**みんなの党大津の考え**  
一般会計1000億円の市予算からすれば微少ともいえる事業ですが、無駄な事業の象徴と考えたため議会で取り上げました。同様のサービス

(FacebookやMixi、Twitterなど)が多くある中、サービスの社会貢献性と必要性もかなり低くなっているといわざるを得ませんので早期の廃止または譲渡するべきと考えています。本年中には、民間の利用者団体へ譲渡するということがあり、情報システム課長からは補助金を出さない予定と聞いています。注意深く動向を見ていきたいと思ひます。また、本質問は多くの新聞等マスコミに取り上げて頂きました。

## 4. 堅田駅を中心とした市北部の活性化について

### 藤井哲也からの質問

本年（平成23年）10月に宅地販売された市の保留地「堅田・山の手」は応募期間内にすべての区画に申し込みがあり、過程では都市計画部職員はじめ、市職員のがんばりがあった。来年度以降も保留地販売事業は継続していく。また、地域では、J

R湖西線の増便や堅田駅の階段増設の要望、更に渋滞緩和のために国道477号線（琵琶湖大橋）真野バイパス、伊香立への道の拡幅を望む声が根強い。そうしたことを踏まえ、堅田駅を中心とした市北部の活性化をどのように考えているかをお聞かせ下さい。

### 市執行部の答弁

来年度以降も「堅田山の手」の市保留地販売は継続していく。また、市の総合計画やマスタープランに沿って市北部全体の整備と土地区画整理事業を進めたい。その過程で住民の皆さまの要望も可能な限り実現できるように努めてまいります。

### みんなの党大津の考え

堅田駅周辺は京都、大阪、北

令の発出を行う。

### みんなの党大津の考え

現在は安全な状態に保管されているとはいえず、早急に取り組まねばならない問題。本業務は滋賀県が本来、担当していたがなにもしないまま放置されてきました。大津市が中核市となつたことにより、ようやく前進してきましたが多額の予算が必

要となるため、また放置した業者関係が複雑であり、昨今は進捗が停滞しています。市が答弁したように、本年度中に関係業者へ措置命令を下して、一定の期間を経て撤去されないならば、行政執行で撤去すべきと考えます。

## 6. 税収外収入の増加策と経費節減策について

### 藤井哲也からの質問

大津市の予測では5年後の平成28年から市内人口が減少に転じるとされている。大幅な税収増が見込めない中、扶助費等の支出は増え続ける一方で、知恵を絞って税収外収入を増やし、経費節減をしなければならない。

今回もろもろアイデアがある中で2点取り上げます。

●増収策…自動販売機の設置を公募方式にすることで、これまでより大幅に税収外収益を得られるのでは？

●節減策…民間電力供給業者（PPS）を市庁舎、学校、

### 市執行部の答弁

「自動販売機の設置」の公募に今後、順次取り組んでいきたい。PPSの導入も検討したい。

### みんなの党大津の考え

日本国と同様に、地方自治体の財政も今後、高齢化に伴う福祉や県人事委員会の勧告自体が民間準拠していきたく考え、サリーマンとの給与格差を是正するため、更なる給与削減の必要があるとの立場から議案に反対しました。賛成多数で可決されました。

### 市執行部の答弁

社関係予算の増大と、生産人口の減少による税収の減少によって、厳しさを増す一方です。大津市の高齢化率は全国的にはまだ低いほうですが、日ごろからの経費節減とアイデアを出した税収外収入の確保策を練っていかねばなりません。今後も会社経営経験を生かしアイデアを市に提案していきます。

### 外部団体への職員の「天下り」や「わたり」の調査と監視

大津市にも外部団体や関係団体があります。「天下り」や「わたり」は何も国だけにいえることではありません。

業務遂行能力もなく天下ついで元職員がいかなど調査と監視を行います。

## 大津市の経済活性化

### 新産業育成（ベンチャー企業支援、既存企業の新分野進出支援）に関する市への政策提言

新産業の育成なくして、地域経済の活性化はありません。新しく雇用を生み出し、消費者たる市民が潤い、結果として税収が増加することによって教育、福祉、産業振興の予算を増やせます。

### 市北部の商業、産業活性化と、住みよい環境づくりに関する市への政策提言

市北部堅田駅西側に開発中の「堅田・山の手」。仰木の里東や

## 若者の政治・社会参加意識の向上

### 若者の政治・社会参加意識を高めるためのシンポジウムの企画・実行

若者の声を政治に反映させることは持続的に大津市が発展するために重要だと感じています。

新しいことにチャレンジしようとする若者が増えるためにも、がんばる若者を応援するシンポジウムの企画・実施します。



ローズタウン、和邇を含め市北部の人口は近年増加する傾向です。商業や産業活性化を促進し、教育、福祉を充実させずみよい街づくりができるよう大津市へは引き続き政策提言を行います。

## 【研修会スタッフを募集しています】

●本年春（5月頃）と冬（11月頃）に社会貢献型ベンチャーを起業し活躍中の若手経営者や起業準備中の大学生を招いて、「元気な滋賀から！社会貢献型起業のススメ」（仮称）という市民オープン型の研修会を浜大津で開催予定です。

社会貢献を行い、且つ自治体の補助金等に頼らない自主経済性を兼ね備えた起業のモデルケース講演や、一般参加者も交じってのパネルディスカッション、交流を通じ、滋賀県在住の大学生や若者が夢と希望を感じる場になり、参加した若者が将来、起業や社会貢献を考えるための場とします。

みんなの党大津としては、大津経済の活性化、若者の社会参加意識の向上の活動の一環として、また政策提言につなげる研究の場として、本研修会を実施予定です。

### 会派連絡先

大津市御陵町3-1  
市役所本館3F 議員控室

### 藤井議員自宅連絡先

大津市真野 1-13-7-205

<http://www.fujitetsuya.jp>

メール [tetsuya@fujitetsuya.jp](mailto:tetsuya@fujitetsuya.jp)

フェイスブック  
「fujitetsuya53」

ツイッター  
@fujii\_tetsuya

FAX：050-3488-7717

※ブログを週1、2回書いております。

※ 将来 政治家になりたい若者や、大津市活性化のアイデアをお持ちの方はぜひメールやFAXでご連絡くださいませ!

## 公務員制度改革

## 今年、みんなの党大津が重点的に取り組むこと

今回の議会では市職員の不祥事が相次いでいることからいわゆる「市職員のコンプライアンス条例」であったり、「市議会議員の政治倫理条例」も提出され可決しました。

また、市職員や教育公務員の給与改定（0.2%程度▲）に関する議案も提出され、みんなの党大津としては、そもそも人事院

### 大津市職員の給与・手当等の引き下げの議会内外での訴え強化

公務員にとっては身内とも言える、人事院勧告に基づく給与俸